

バラ出逢う 心ときめく

バラ見頃です

当園のバラ園がこの春、全面リニューアルしました。バラと出逢い、心がときめく場所、それが「常陸ローズガーデン」です。

ひたち
常陸ローズガーデン
この春 全面オープン！

※ジュビレデュプリンス ドゥ モナコ

常陸ローズガーデンにて
2015年5月23日撮影

お問い合わせ先

国営ひたち海浜公園 ひたち公園管理センター
広報課 広報係 服部・浅沼・安蔵
〒312-0012 茨城県ひたちなか市馬渡字大沼 605-4
TEL：029-265-9001（報道関係者の方は9004・9005）
FAX：029-265-9339
<http://www.hitachikaihin.jp>
“ひたち海浜公園”で検索



ダブルディライト



エレガントレディー



ケアフリーワンダー



希望



プリンセスドゥ モナコ



ジャルダンゥ フランス



クロード モネ



桃香



スイートメリナ



シェエラザード

上空から見下ろす 一輪のバラ

バラ一輪の花模様にデザインされたローズ
レリーフガーデンは、まさにバラが集まっ
てできた巨大な一輪のバラ。全体的に赤・
ピンク系の色で構成されています。

観覧車から見た常陸ローズガーデン
の“ローズレリーフガーデン”
2015年5月23日撮影
それぞれ10個の島に植栽されている
おすすめの品種を紹介しています。

IBARAKI BARA MATSURI

茨城ノバラまつり

Rose garden of Hitachi Seaside Park

6/7日は
入園料
無料日

駐車料金等別途必要
※春季における
都市緑化推進運動期間

5/23
土
6/14
日

場所 常陸ローズガーデン

約120品種・3,400株 (うちハマナス1,600株) 見頃 5月下旬~6月上旬

このひとに
ききました

常陸ローズガーデンを
手掛けた公園スタッフ



ひたち公園管理センター
業務課長 加藤伸治

美しく優雅に咲き誇るバラ。この魅力を様々な世代の方にお伝えしたいという思いを胸に、常陸ローズガーデンの造成に携わってきました。バラ初心者の方やご家庭で育ててみたいという方には、バラに興味を持っていただく入り口としてぜひ観に来ていただきたいですね。親子でバラにまつわるイベントに参加するのもよし、リラクゼーションガーデンで家族みんなで寝転がるのもよし。自分なりの楽しみ方を見つけて、バラを好きになっただければ嬉しいです。

楽しみ方は十人十色。

バラの魅力をもっといろんな世代の方々に知ってもらいたい。



ひとつひとつのバラには物語があるんですよ



ロサ ガリカ オフィキナリス

紀元前から存在し、人類ともっとも古くからかわりを持っていたとされるバラ。イギリスのバラ戦争(1455-1485)のとき、ヨーク家の白バラの紋章に対して、ランカスター家の紋章にされた。



モーリス・ユトリロ

名前はフランス近代画家モーリス・ユトリロにちなんでつけられた。常陸ローズガーデンには他にもポール・セザンヌやクロード・モネなどの画家シリーズが多く植栽されている。



ホワイト・グルーテンドルスト

ピンク・グルーテンドルストの枝変わり(成長点の突然変異)で、時々ピンクの花や一部にピンクが絞りとして入る。



プリンセス
ドゥモナコ

ジュビレデュ
プリンスドゥモナコ

モナコ国王妃となった、故グレース・ケリーに捧げられた。(上) 赤と白はモナコ公国の国旗の色であるため、故グレース王妃の夫君である元モナコ公国元首・故レーニエ三世大公の即位 50 周年記念に捧げられたバラ。(下)

国営ひたち海浜公園

TEL.029.265.9001
<http://www.hitachikaihin.jp>

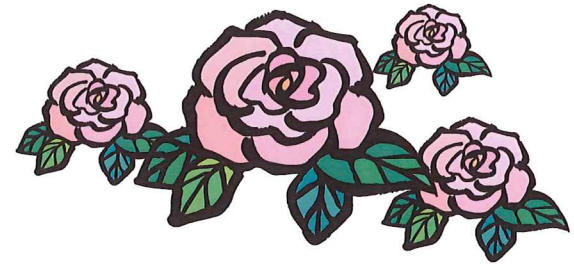


潮風と茨の饗宴

常陸ローズガーデン

日本におけるバラの歴史は、約1,300年前(奈良時代713年)に書かれた「常陸国風土記」に登場するのが国内最古の記述とされています。常陸国は現在の^{ひたちのくに}ここ茨城県に位置し、「茨城郡」のくだりにある“茨(うばら)”の記述は、茨城県の県名や県章の由来となっています。

現在、全世界で3万品種を超えるバラの基をたどると、概ね8種の原種バラにたどり着きます。そのうちの3種(ノイバラ *Rosa multiflora*、テリハノイバラ *Rosa luciae*、ハマナス *Rosa rugosa*)が日本からヨーロッパに渡り、多くのバラの樹形や耐候性を形づくる^そ祖となりました。国営ひたち海浜公園は、この3種のバラが自生する貴重な環境にあります。



◀ノイバラ
Rosa multiflora



◀テリハノイバラ
Rosa luciae

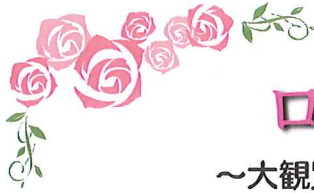


◀ハマナス
Rosa rugosa

^{ひたち}常陸ローズガーデンは、「潮風と茨の饗宴」というコンセプトのもと、このような歴史的背景や環境的観点から、テーマを設けた3つのゾーンを創りました。

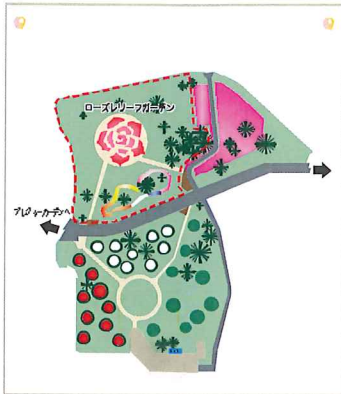
- ハマナスの思い出ガーデン：原種バラ自生地としての特徴を活かしたゾーン
- ローズレリーフガーデン：大観覧車からの眺望を意識したデザインのゾーン
- リラクゼーションガーデン：本公園の広大なスケール感を活かしたゾーン





ローズレリーフガーデン

～大観覧車からの眺望を意識したデザインのゾーン～



レリーフとは美術の技法で「浮き彫り」を意味し、大観覧車に乗って見下ろすと、大きなバラ一輪の花模様が浮かび上がって見えるデザインとなっています。

バラの花模様の中心には「希望」という品種が植栽してあり、次世代へと繋ぐ希望の花を咲かせます。

また、花模様の中心部まで入って、花に埋もれて写真撮影できる植栽デザインは、まさに「斬新」というバラの花言葉どおりのデザインとなっています。



リラクゼーションガーデン

～本公園の広大なスケール感を活かしたゾーン～



このゾーンには、広い空の下、バラのすぐ隣で読書や食事、昼寝などくつろいだ時間を過ごしていただけるよう、芝生のスペースを広く設けています。

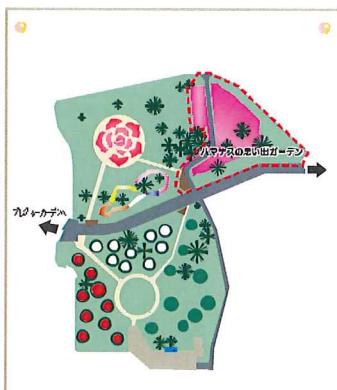
バラは、科学万博つくば'85(1985年開催)から譲り受けた2品種(アイスバーグ、ラバグルート)を植栽し、同博覧会のシンボルマークをモチーフとしたループ状のデザインを取り入れています。

心地よい潮風に吹かれ、広い空と華やかに咲くバラを眺めながら、芝生の上で思い思いの時間をお過ごしください。



ハマナスの思い出ガーデン

～原種バラ自生地としての特徴を活かしたゾーン～



ハマナス(浜茄子)は日本を代表する原種バラの一つで、「世界のバラ事典(MODERN ROSES XI:2000年アメリカ)」では、別名「Japanese Rose」と紹介されています。

茨城県はハマナスの太平洋側自生地の南限で、鹿嶋市には国の天然記念物に指定されている「ハマナス自生南限地帯」があります。

本公園の海浜部にもハマナスが自生しており、この太平洋側自生地の南限である特徴を活かして、ハマナスとその仲間を植栽したゾーンを創りました。

